

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	西部県民センター	氏名	齋藤寛之
派遣先 団体名	NPO法人石見銀山共同会議		
<p>① 研修の日時</p> <p>平成 28 年 10 月 20 日 (木) 9:00～17:00</p> <p>平成 28 年 10 月 21 日 (金) 9:00～17:00</p> <p>平成 28 年 10 月 22 日 (土) 8:00～13:30</p> <p>研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)</p> <p>○石見銀山遺跡の発掘現場の見学 (10月20日AM)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石見銀山ガイドの会の和上豊子さんと一緒に、佐毘売山神社付近の昆布山谷地区で発掘調査中の現場を見学 ・発掘作業中の職員から、発掘された生活道具や石垣の様子から18世紀から19世紀ころ建物があつたと推測されること、また、精錬からでるユリカスがたくさん捨てられている場所が見ついているなどの作業状況の説明を受けた。 ・現地で遺跡をみて説明を聞きながら、昔に栄えていたころの町並みが想像できて、石見銀山の町がどんなにすごい規模だったか実感できた ・また、石見銀山地域には、観光客向けに公開されている文化財のほかにも、知られていない多くの遺跡があることがわかった <p>○石見銀山街道の現地調査 (10月20日PM)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石見銀山ガイドの会の和上豊子さんに各所の遺跡等の説明をしてもらいながら銀山街道温泉津沖泊道を西田から松山まで歩いた ・和上さんの説明により、また現地を歩いてみて、普段見ている風景の中にも銀山とのつながりがあるものが多くあることが分かった ・道中、地域の方とお話しをする機会もあつたが、和上さんは、その会話の中からも地域のことを学び、今後のガイドに役立てようと熱心にメモをとられている姿が印象的だった <p>○温泉津小学校での石見銀山学習の視察 (10月21日AM)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生の3・4校時に銀山学習として実施された、筑波大学大学院の学生による授業を視察 ・どうして世界遺産を守る必要があるのか、温泉津と石見銀山について、小学生にもわかりやすい内容で授業が行われた ・地域の歴史や価値について知ることができて、小学生も地域に誇りを持つことにつながると感じられた ・石見銀山共同会議の基金事業で、このような授業が行われていることが興味深かった 			

○クリーン銀山活動の準備、清掃場所の現地確認（10月21日PM）

- ・テント、机、椅子等備品を集合場所となる銀山公園に搬入
- ・翌日の清掃場所及び清掃内容について現地確認

○クリーン銀山活動（10月22日）

- ・石見銀山共同会議が主催する石見銀山の環境保全を目的とした清掃活動
- ・100名を超えるボランティアが参加し、遊歩道周辺に野積みされている竹や木の撤去作業を行った
- ・参加者は、少しでも遊歩道の見た目を良くして、観光客に気持ちよく歩いてもらいたいと熱心に作業をされていた
- ・作業終了後には、見違えるほどきれいになった遊歩道を集合場所まで歩いて帰り、集合場所で、おにぎりや豚汁を食べながら作業を振り返っていた
- ・解散後、集合場所の片付け、看板撤去、備品の返却を行い研修終了



発掘現場



銀山街道（和上豊子さん）



石見銀山学習



遊歩道周辺の竹



クリーン活動の参加者



活動風景

② 研修の感想

(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)

- ・ 普段は観光の仕事で石見銀山に関わっているが、今回は違ったアプローチで石見銀山に関わることによって、その魅力をより知ることができたし、地域が石見銀山に誇りを持っていることや守っていこうという思いを実感できた
- ・ 当日集まったボランティアの人数や、きれいになった遊歩道を見て、民間活動の凄さを感じた。民間の力があってこそ実施できるものがあり、行政・民間が役割を分担して地域の課題に取り組む必要性が実感できた

③ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)